

No.15

発行/奈良市議会
編集/奈良市議会だより
編集委員

奈良市議会だより

〒630 奈良市二条大路南1-11
奈良市議会事務局
☎ (0742) 34-4734

就任のごあいさつ

市民の皆様にはますます清祥のこととお喜び申し上げます。
本市は、積極的な諸施策の推進により、市勢の発展はまことに目覚ましいものがあります。
現在、実現化が進む関西国際空港や関西文化学術研究都市の建設、さらには本市におけるJR奈良駅周辺の新都市拠点整備事業などの推進により、活発な国際文化交流あるいは経済活動の拠点としての活性化が図られ、二十一世紀へ向けて大いに飛躍する重要なときであります。
世界に誇れる国際文化観光都市としての伝統、そして関西の経済圏に位置する利便など、本市の特色を生かし調和のとれた秩序ある都市づくりを目指し議員各位とともに議会の運営に最善をつくし、皆様方の期待にそいたいと存じております。
終わりに、市民皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げます、議長、副議長就任のごあいさつといたします。



議長 岡本 栄一



副議長 廣岡宇三郎

初日には十五件の議案を上げ、市長から提案説明を受けました。質疑、一般質問は二十日の本会議で、四人の議員が行いました。質問終了後翌二十一日には、十五件の議案を原案どおり可決し、二十三日には正・副議長の選挙を行いました。議長に岡本栄一議員が再選され、副議長には

廣岡宇三郎議員が選出されました。二十四日には、議会推薦の農業委員に東田坦議員の推薦を議決し、引き続き常任委員の改選を行いました。この後、議案一件と市長から追加提案された人事案件三件を可決、同意して、会期を三日間繰り上げて閉会しました。

六月定例会 議長に岡本氏 副議長に廣岡氏選出

昭和六十三年六月定例会は六月十七日に開会し、二十七日までの十一日間の会期で開きました。

この議会では、初日の十七日に市長から十件の報告を受けた後、市長提出の議案十九件(追加議案を含む)の審議と、正・副議長の改選、各常任委員の改選などを行いました。

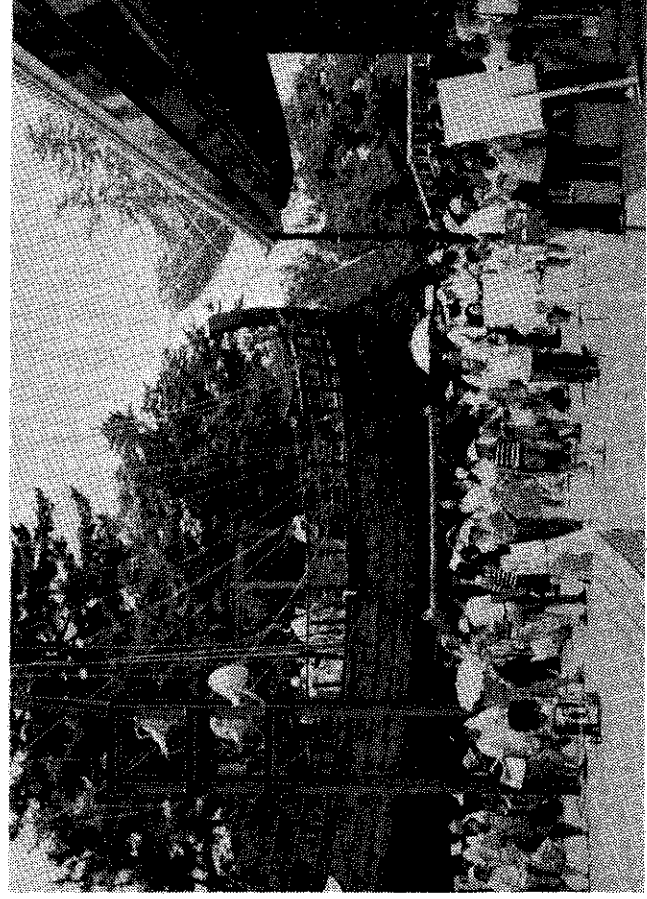
各常任委員を改選

正、副委員長決まる

今議会で改選された常任委員会の正副委員長を初めとする議会の役員は次のとおりです。(委員名は四面に掲載)

- 常任委員会
 - 委員長 小林 照一代
 - 副委員長 松石 聖一
- ▽総務財政委員会
 - 委員長 小林 照一代
 - 副委員長 松石 聖一

復元されたたけふキレニア号(シルクク博春野日野会場)



- ▽経済水道委員会
 - 委員長 東田 坦
 - 副委員長 山本 清
- ▽教育厚生委員会
 - 委員長 真銅 四郎
 - 副委員長 大谷 督
- ▽企画建設委員会
 - 委員長 米澤 保
 - 副委員長 岡本 志郎
- 議会運営委員会
 - 委員長 大西 富雄
 - 副委員長 横井 健二
- 議会だより編集委員会
 - 委員長 峠 宏明
 - 副委員長 島崎 光治
- 都市基盤整備特別委員会
 - 一部交代しました。
 - 委員長 中西 義次(大西富雄)
 - 副委員長 樹杉和彦(真銅四郎)
 - 委員 中村 誠一、中村 重信(廣岡宇三郎、森本三郎)
 - ()内は旧

請願

今定例会に提出された請願は一件で次のとおりです。

- ▽パチンコ屋(ヒラサワ)建築申請等脱法行為の摘発についての請願書
 - 請願者 日本労働党 委員長 辻山 清氏 (企画建設委員会付託)
 - 〓取り下げ〓
- ▽あやめ池北一丁目地内マンション建設反対に関する請願書
 - (六十三年三月定例会提出)
 - 請願一件を採択
 - 六十二年六月定例会で教育厚生委員会に付託し、審査を行ってきた一通学路の安全対策に関する請願書は、本定例会で採択されました。

陳情

- ▽別当谷池跡地利用に関する陳情書
 - 陳情者 中山町西二丁目第一自治会 会長 松本正美氏外五百三十五名
- ▽JR奈良駅前再開発C地区反対に関する陳情書
 - 陳情者 C地区再開発反対同盟 会長 株式会社大宮荘社長 吉田久枝氏外二十名
- ▽神功四・五丁目地内におけるワンルームマンション及びアパート建設の中止を求める陳情書
 - 陳情者 神功自治連合会 会長 梶野哲氏外五百四十三名

議会日誌

- ☆三月
 - 29日 都市基盤整備特別委員会
 - 30日 会 大官市を行政視察
- ☆四月
 - 12日 議会だより編集委員会
 - 18日 経済水道委員会
 - 幹事長会
 - 25日 都市基盤整備特別委員会
- ☆五月
 - 1日 議会だより第14号発行
 - 6日 企画建設委員会
 - 10日 総務財政委員会
 - 13日 教育厚生委員会
- ☆六月
 - 7日 幹事長会
 - 10日 内示会
 - 13日 議会運営委員会
 - 17日 六月定例会開会
 - 24日 六月定例会閉会

その他

- ▽奈良市国民健康保険条例の一部改正について
 - 地方税法の改正及び国民健康保険条例準則の改正に準拠するもの
- ▽工事請負契約の締結について
 - 都跡小学校屋内運動場改築工事
 - 富雄北小学校屋内運動場・プール・給食室改築工事
 - 奈良市公共下水道大宮分水幹線築造工事(大宮町三丁目・芝辻町一丁目)
 - 奈良市公共下水道大安寺第一幹線築造工事(西九

奈町一丁目地内)。
。奈良北地区土地区画整理事業整備工事(一工区)

▽監査委員の選任について
議員から選任する監査委員に萩田義雄氏、尾谷進氏の両議員の選任に同意

▽教育委員会の委員の任命について
松本和義氏の任命に同意

今西議員受賞
全国議長会特別表彰

六月一日、東京で開かれた第六十四回全国市議会議長会定期総会で、今西五一議員が議員二十五年特別表彰を受けられました。

また、全国市議会議長会の前期役員として社会文教委員長に任じた岡本議長に感謝状が贈られました。

弁答

市長「21世紀のまちづくり最重点」

市政四年間の反省は

政治姿勢

本会議

市民生活優先の市政を

シルク博、福祉、公害など審議

六月定例会の本会議は六月二十日、質疑、一般質問が行われ、四名の議員が質問に立ちました。

各議員は、過去四年間にわたる西田市政を総括した問題点のほか、シルク博の成否、公害対策、第二阪奈道路の建設、大学誘致、増加する高齢者の医療と福祉の再検討について真剣な質問と市側の対応を求める発言がありました。

以下は、その質問と市長ら各関係理事者の答弁の要旨です。

問 四年間の西田市政は、福祉と教育の切り捨てが目立つ。去る四十七年、市は独自で老人医療無料化制度をつくった。ところが昨年の所得制限により有料化となった。

答 国保は四年連続で保険料が値上げされて最高年額は二十六万円から三十九万円になり、平等割、均等割も値上がりとなった。

問 第二は教育の切り捨てだ。この四年間で、年々教育予算が減らされた。マンモス校には手がつけられず、千人以上の小学校が六校、中学校も六校ある。

答 第三はごみや産業廃棄物の不法投棄に県と市が全く手を打たなかった。東部山間部で

の被害は広がり、市内の佐保川はどぶ川に近くなった。

第四は建造物の高さ制限と容積率の緩和で、これは古都の景観を破壊する。

問 四年間の市政を顧みて市長はどのように反省しているか。

答 いろいろの批判はあるが、考え方の違いである。福祉は一步後退したが、二歩、三歩の前進をした。

問 今後の政治姿勢は、二十一世紀の奈良市の姿はどうかというのが、基本的な考え方である。

答 入場者の予測は協会が専門家の意見を聞いたもので前売り券が二九二万枚売れているので、この数を基礎にして最終的には、六六〇万人から七三六万人の二つの予測を出している。目標数を毎月、積み上げてグラフにしてみる。と今のところ目標は達成できる見込みである。

問 この博覧会には、開幕以来、市民や旅行者から多数の不満が寄せられている。副会長である市長は地元の苦情に対し、どのような改善を考えているか。また飛火野会場の完全復元は可能なのか。さ

文化財も多い。これらを世に引き出して奈良らしいまちづくりを進めていくために開発する場所と地形上の位置を総合的に判断、各地域の特性を生かすようにしようとするわけだ。すべてについて高さや容積率を緩和しようとするものではない。

シルク博

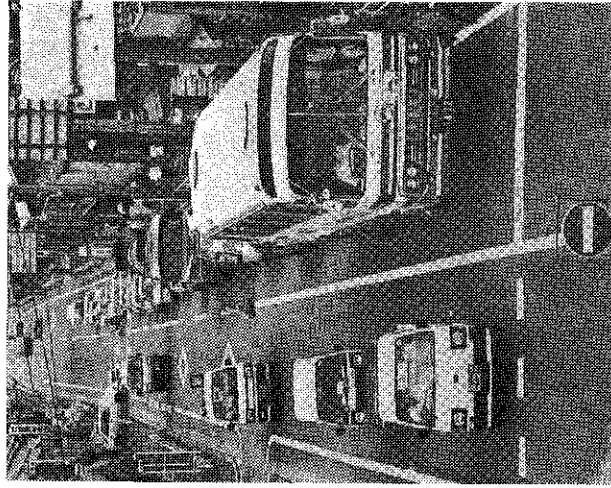
六六〇万人は可能か

家族づれ重点にP R

問 六月十六日までの入場者は一五九万二四〇五人だが当初目標の六六〇万人の見込みはどうか。

答 現在までの各会場別の延べ入場者数、パーク・アンド・ライド方式の現状、今後のP R作戦について説明された。

会場別では、六月二十日まで、登大路会場が六一万二千人、春日野会場が七十七万九千人、飛火野会場が二十八万八千人、合計一六七万二千人。平城宮跡会場は、その一割程度が入っていると思う。新設した全駐車場の収容可能台数は九千台だが、平均し



市内の一方通行規制

て、一日の利用駐車数は一千台ちょっとで少ない。

一方通行で客足減 打撃受ける商店街

問 高度情報化社会には、光と影の両面がある。影の側面は、情報の過多と処理に伴う人権の侵害だ。

個人情報

プライバシー保護とコンピュータ

問 高度情報化社会には、光と影の両面がある。影の側面は、情報の過多と処理に伴う人権の侵害だ。

答 奈良市は個人情報の保護条例をつくって八年になるが、その電算業務は水道局、図書館では単独の使用が行われている。個人情報の保護には、

どのように対処してきたのか。さらに条例の見直しを考

大学誘致

緑地保全と実験の安全度

近畿大学開校の問題点

問 富雄中町に六十四年四月開校予定の近畿大学の研究内容には、バイオテクノロジーやエレクトロニクスなど、ハイテクの研究がある。これらの研究や実験には、何を

問 開発計画書によると、地域内に残る自然緑地は四六・八〇％となっているが、保全の責任体制はどうか。

答 近畿富雄駅は大学側の資料によると、新たに約一万一千人がふえ、現在の乗降客数と合わせて一日当たり約四万人で、三八％の増となる。これ

問 さらに、調整池は三方所だが、大雨の場合の洪水や土砂流出に心配はないのか。

答 バイオテクノロジーに使用する物質は自然界に存在するものから採取し、外部の刺激によって新しい品種をつ

組織の管理運営に関する規則の改正をした。これは、汎用コンピュータ(大型事務用)だけの規則であったのをOA機器の導入によって、これらの機器の管理、運用のために規定を整備した。また、マニュアル処理(手作業処理)にもプライバシーの保護をしていかねばならないが、この処理形態は、いままじ時間をかけて研究、整備を図っている。

三月には、これら電子計算

くろうとするものである。バイオについては文部省から各大学に示される実験指針に基づいて近大でも安全管理がなされる。

問 緑地は大学の開発面積の七三・五％を保全することになっており、造成地には移植を行うなど緑化の指導をすすめる。

問 富雄駅については、キャンパスが完成した段階で、最も多い時間帯の乗降客は約三千六百人と見込まれ、計算上現在の富雄駅ホームでも対応は可能だ。

問 調整池は、一時的な豪雨による土砂流防止に設けるもので、県の基準により近大のキャンパスには、造成区域のうち六〇％、二万九千立米の調整池が必要となるが、さらに安全を期するため最大降雨量を想定して六方所、六万七千立

米の調整池をつくることになっている。

税制改革

市民への影響は
三%の消費税

問 消費税の導入が準備されているが、市や各建設中の布目タムへの影響はどうか、特に低所得層への影響は大変なものと思うが、福祉面ではどうか。

答 奈良市に与える影響は確かにあると考える。まず歳入面では電気税、ガス税等が廃止され今年度予算ベースで約十一億円が減収となる。しかし大綱では最終的に自治体の減収とならないよう配慮するとなっており、消費増徴と税創設等で補てんされることになる。歳出面では国の資料も出ていないので試算できていない。布目タムへの影響についても同様である。福祉面では保護世帯でも影響は出るが、国の保護基準が毎年見直されるので導入されれば当然考慮されるものと思う。

質問と

ひとり暮らし老人

問 保健婦は現在二十一名で訪問回数は、障害があり、看護が必要な者は月に一回か一回。適切な看護の技術指導

市では、老人保健法で定められた訪問指導の対象者を、どのように決めていくのか。
保健所法から見て奈良市には保健所が不足している。増設を県に要求すべき

法改正で増える老人負担

痴呆性老人の託老ホーム計画

問 厚生省は在宅医療を重視、その具体化として国から病院に支払う老人基本看護料を減額した。

市では、老人保健法で定められた訪問指導の対象者を、どのように決めていくのか。
保健所法から見て奈良市には保健所が不足している。増設を県に要求すべき

給食サービスで安否の確認を

給食の拡充は研究が必要

問 ひとり暮らし老人の死が数日後に発見されたケースが最近三件あった。こうした老人の健康状態は給食サービスを増加すれば、その安否も事前に把握できると思うが、実施の計画はないか。

答 ひとり暮らし老人への給食サービスは現在、大安寺、大宮、平城西の三地区で社会福祉協議会が月に一回程度行っている。これは地区協会の役員、婦人会の奉仕によるもので、三地区での対象者は

のうちの要介護老人の四十四世帯に家庭奉仕員を派遣、ひとり暮らし老人の百二十世帯には福祉電話を設置したり、寝たきり老人には本人の選択で入浴サービスを実施、登録者は百四十名である。
今後は、痴呆性老人の託老ホームの設置と寝たきり老人へのデイサービスの拡充をする計画をしている。

問 福岡県の春日市は、年間一日も休まず社会福祉協議会が給食サービスをしており、老人の健康状態も確かめられると言っている。
奈良市でもボランティアの協力で毎日給食が行えないか。また生駒郡三郷町などへのデイサービスの拡充をする計画をしている。

答 給食サービスは、今のところ全市的に社協でやることは考えていない。給食を拡大すると、その人が子供が親を放すことにもなり、いろいろな状況をよく研究しないといけないと思う。見舞い金制度は行方考えはない。

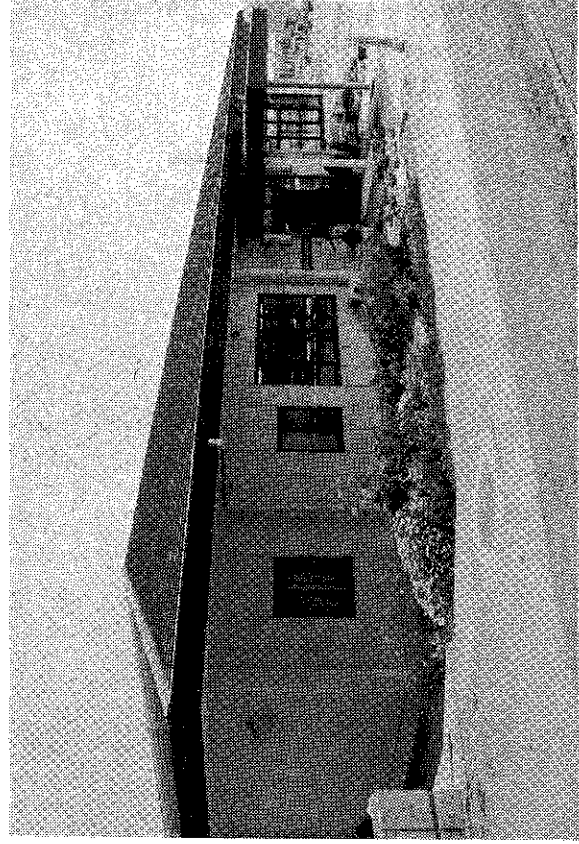


在宅身障者

問 現在、市内の身体障害者は六三四〇人、七年前に比

べると約二七〇〇人もふえている。総合福祉センターの中に市民の方々の温かい資金で作業所をつくった。しかし養護学校を卒業しても障害の程度で就職の困難な人たちからこのため今年度予算で第二の作業所を準備している。さらに福祉法人が作業所の適地を積極的に求めることに市も協力を約束している。

福祉 年々増加、現在六三四〇人 第二作業所を準備



奈良市中心身障者福祉作業所（総合福祉センター内）

自然と環境破壊が深刻化

ゴルフ場建設ラッシュの余波

問 先日、山添村では住民がゴルフ場の建設中止を知事に要望し、六百万円の予算で村内の川の水質調査を始めたという。ゴルフ場は芝生の管理に殺虫剤や除草剤を多用しており、昆虫が死滅し野鳥が寄りつかなくなっている。

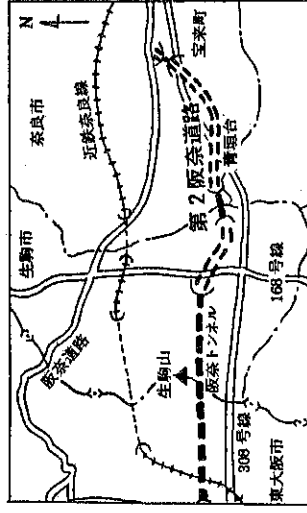
そのうえ、下流域に農薬汚染を引き起こすので、住民の中止要望となったのだ。本市にあるゴルフ場の排水口を市で調査をしたことはあるか。

答 原水と浄水の農薬汚染の現状を説明されたい。

このほか、二十年も続いている本市の蚊、ハエ除去運動だが、市は使用するスミチオンなど有機剤の危険性について市民からの声に耳をかさず、毎年、この種の薬剤散布をし、各家庭にも配布している。最近では配布された薬剤の処置に困っている家庭が多い。配布を改めるなり、配布をやめる考えはないか。

その外、奈良市の公園等の施設で使われている薬剤散布の状況はどうか。

答 市内には十カ所のゴルフ場があるが、今のところ、これらのゴルフ場の排水口で農薬の有無については検査をしていない。しかし市の公害調査センターでは、河川の有機物の調査はしている。上水道の原水、浄水での農薬試験は、五十九年から県衛生研究所に依頼している。本年四月



にも十分な説明をしないまま、ことしの二月からトンネルの取り付け道路の工事を進めている。事業主体が県であ

問 五十九年四月、県の都計審で一般国道三〇八号バイパス(第二阪奈道路)の建設案が出されたが、以来四年間県と県道路公社は極めて不十分なアセスメント(環境事前調査)しか行わず、地元住民

と五月の試験結果では、木津の原水と緑ヶ丘の原水で、ダイアジノン(殺虫剤)を検出したが、浄水では検出はしていない。

除草剤は四種類検査をしてもらった。その結果は、CNPとNIPの除草剤は検出されなかったが、オキサジアゾ

市は積極的な対応を

第二阪奈道路の大気汚染

るとして奈良市の姿勢には市民に対する誠意が見られない。

一三・四の道路のうち四・八は奈良地域で、立ち退きを迫られた青垣台住宅地区だけでなく、沿線の富雄中町、帝塚山南住宅、終点の宝来町などでは大気汚染の影響が大きい。そのうえ大阪府の道路公社が生駒山トンネルの排気ガス対策として大阪側の換気塔を一・四キロ奈良側に移動の計画をしている。計画変更となれば、アセスメントのやり直しが必要ではないか。

答 トンネル内の換気塔の移設には前提があり、排気ガスの除去率が八五%に達しない場合ということなので、まだ決定はしていない。達成できないときに改めて大阪府、奈良市、県公社で協議をするという。事業主体が県であ

ンに原水、浄水ともに検出された。

これらの農薬は、水道法では検査項目に入っていないが、今後も関係機関と協議して研究していきたい。

蚊、ハエ除去は、現在、一八五地区、全世帯の二五%に当たる二万七千世帯で実践してもらっている。毎年、各自治会や婦人会の代表に薬剤の正しい使い方を説明し、未使用の薬剤は回収することになっている。

公園等で散布されている薬剤については、より安全な方法を検討していく。

